

えんがわ

第81号

2013年12月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
TEL 046-852-1182

旅の思い出

「あのサンタさんはね、サンタクローズ村から来た本物のサンタさんだよ。」サンタ来日のニュースを見ていた孫娘に、そう話したのがきっかけで、数年前の冬、孫たちと一緒に、フィンランド・ロヴァニエミ郊外にあるサンタクローズ村（正式には、サンタクローズオフィス）を訪ねました。北極線をまたいで存在するサンタクローズ村は、写真で見た北欧のクリスマス風景そのもので、隣接するトナカイ牧場には立派な角をもったトナカイの群れ、希望すればトナカイが引くそりに乗り、雪に覆われた北欧の林を遊覧することも

できます。

サンタクローズオフィスの一室で、サンタさんと一緒に写真に納まり、握手をした孫たちは「本物」のサンタさんとの出会いに満足げでした。

そんな孫たちを見て、児童文学者・松岡享子さんの言葉を思い出しました。

「子供たちは遅かれ早かれサンタクローズが本当は誰かを知る。（中略）しかし幼い日に、心からサンタクローズの存在を知ること、その人の中に信じるという能力を養う……」（「サンタクローズの部屋」）
幼い日に宿る「信じるころ」を大切にしたい……。

佐藤 千郎
チャプレン室室長

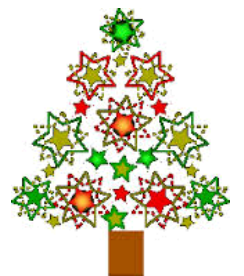
えんがわ在宅 ひとくちメモ

マスクの大切さ

これからの時期に大活躍する『マスク』の歴史を、皆さんはご存知ですか。日本でのマスクの歴史をひも解くと、大正時代に遡ります。当時のマスクは、真鍮（しんちゆう）の金網を芯に布地をフィルターとして取り付けたもので、工場内の粉塵よけとして利用されておりました。「工場マスク」と呼ばれていたそうです。このマスクが、一九一九年（大正八年）に大流行したスペイン風邪（今でいうインフルエンザ）をきっかけに予防品としても注目されることになりました。後徐々に



普及し、色々な改良がなされて現在のマスクとなりました。



マスクの種類は、「家庭用マスク」「医療用マスク」「産業用マスク」と大きく分けて3種類あります。皆さんがよく使用されている「家庭用マスク」は、一般的にインフルエンザやカゼ対策、花粉対策、防寒など、さまざまな目的で使用されていると思います。同時に、マスクの目的は、自分だけのことではなく、「周りの方の予防」も含まれており、これからの時期にもっとも大切なアイテムです。皆さん、「周りの方への気遣いを忘れずに」
用度課長代行 行谷 俊明
素敵なクリスマスが迎えられますようにお祈りいたします。